

小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 40

1. 基本情報			
<1> 事業・業務名	配水管布設事業(輻輳管整備)		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	② 平成30年度に事業内容(対象・手段等)を見直した事務事業		<4> 継続評価 新規評価の別
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり	<6> 担当部(局)
	中項目	5-4 住みたい住み続けたい住環境	建設水道部
	小項目	5-4-2 上水道	<7> 担当所属
	施策	配水管布設事業(輻輳管整備)	上下水道施設課
<9> 根拠法令・計画等		<10> 関連・類似事業	
<11> 会計	会計	<12> 予算科目	1 款 1 項 1 目
<13> 実施期間	11 年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	776,501 千円
<15> 実施手法	直営	「その他」の場合 ()	

3. Check - 評価 -			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	1.増大している
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない
	効率性	<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいか?	2.中位
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		2.向上の余地はない	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	3.不可能である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	4.該当しない	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	3.改善の余地はない	理由	輻輳管の原因が市民が個々で布設した給水管にあることから、増減を明確にすることが難しく、件数も膨大であることから、優先度をつけて解消していくしかないため、改善の余地はない。

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	輻輳管の解消として給水管を整理統合する新たな配水管の整備							
目的	<17> 事業・業務の目的	安定した水道水の供給及び老朽化した給水管の漏水の防止						
	<18> 事業・業務の対象	公道上の縦断方向に複数布設された給水管						
手段	<19> 平成30年度の活動内容	事業箇所には、配水管(本管)が布設されておらず、複数の給水管が布設されているため、新たな配水管(本管)を布設し、輻輳管の解消を進めていく。						
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
		工事件数	件	6	2	5	6	120.0%
成果	<21> 事業・業務の成果	毎年、輻輳管の整備を実施することにより、輻輳管が解消され、計画延長が減少となる。						
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
		工事延長	m	1,100	730	1,070	1,000	93.5%
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度		投入率(%)
			千円	計画	実績	計画	実績	
		事業費等	千円	52,878	52,763	52,859	51,740	97.9%
			千円	50,000	49,885	50,000	48,881	97.8%
			国・県補助金	千円				
			地方債	千円				
		その他	千円	50,000	49,885	50,000	48,881	97.8%
		一般財源	千円					
人件費	千円	2,878	2,878	2,859	2,859	100.0%		
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.4	7,195 × 0.4	7,146 × 0.4	7,146 × 0.4			
他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×			

4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	改善点として輻輳管の管理方法が挙げられるが、事業の進め方については現状維持でやむを得ない。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 道路管理上からも早期に輻輳解消出来る事が望ましいが、拡張工事費では、減圧解消工事やループ化工事も急を用意している事を考えれば、現状維持でやむを得ない。
事業の方向性	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 漏水対策に効果がある事は周知の事実だが、水道ビジョンで定めた老朽配水管更新等の各課題に多くの費用を要す事を考えれば、現状維持もやむを得ないと思われる。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	・漏水箇所を優先に輻輳管を解消 ・配水管(本管)を整備				
	<38> 活動・成果目標	安定した水道水の供給 ・老朽化した給水管の漏水防止	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
				千円	計画	計画
			事業費等	千円	63,859	63,859
	人件費	千円	2,859	2,859		